

## 2. 海外旅行

**海外旅行人数は過去最高の 1,910 万人(前年比+1.1%)、平均消費額は 241,600 円(前年比±0.0%)、海外旅行消費額は 4 兆 6,100 億円(前年比+1.0%)と推計**

2018年の日本人の出国者数は、1月から11月までの累計で対前年比5.5%増の1,732万人となり、ほぼ毎月、前年同月を上回って推移しました。燃油サーチャージは8月に値上げされましたが、12月は据え置きとなりました。8月の値上がり後も海外旅行者数への影響はほとんど見られなかったことから、当面、影響は限定的であると考えられます。しかしながら、少子高齢化によりシニア層の国内旅行へのシフトと、好調な訪日旅行とのバランスから、市場は必ずしも拡大しているとは言えず、海外旅行人数は1.1%増と予測します。

### ・GW10連休の決定で海外旅行の予約早まる

2019年に限り、GWが10連休になることで、すでに販売が始まっている旅行各社の海外旅行の予約時期が従来よりも早まる傾向が見られます。ヨーロッパなどの遠距離方面を中心に、前年同期比で2倍～5倍の予約者数となっている会社もあり、休みの調整をする必要が少ないことから、早々に旅行を予約する動きがあるようです。

### ・海外クルーズの人気続く

2017年の日本人のクルーズ人口は前年比27.0%増の31万5,000人で、過去最多となっています(2018年6月 国土交通省海事局発表)。外国船の寄港も増加し、日本人の海外クルーズ旅行も定着してきました。世界周遊クルーズやフライ&クルーズ、比較的小手頃な価格帯のクルーズ旅行などバリエーションも増え、富裕層やシニア以外にも若いカップルやファミリー旅行としての利用も広がっていることから、2019年もクルーズ人気は続くと考えます。

## 3. 訪日旅行

**訪日外国人旅行者数は 3,550 万人(前年比+12.3%)と推計**

2018年は、9月の訪日外国人旅行者数が台風や地震の影響によって前年同月比5.3%減となり、5年8か月ぶりに前年同月を下回りましたが、10月の訪日外国人旅行者数は264万人(前年同月比+1.8%)、11月は245万人(同+3.1%)となり、1月～11月の累計では2,856万人(同+9.1%)となっています(12月19日 日本政府観光局発表)。国別にみると、人数では中国が最多で、韓国、台湾が続いています。日本を何度も訪れるリピーターの増加やLCC路線の充実により、地方空港から直接地域に入る旅行者も増えています。2019年は、すでに成熟市場となっている中国、韓国、台湾、香港からの訪日外国人旅行者の伸び率はやや鈍化するものの、欧米や東南アジアからの旅行者の伸びが期待されることから、訪日外国人旅行者数は3,550万人(前年比+12.3%)と推計します。

(参考) 2019年の中国の大型連休(春節および国慶節) (中国国家国務院の発表より作成)

#### 春節(2/5)の連休

日	月	火	水	木	金	土
2/3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23

#### 国慶節(10/1)の連休

日	月	火	水	木	金	土
9/29	30	10/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19

\*2/2,2/3 は振替出勤日 \*9/29,10/12 は振替出勤日

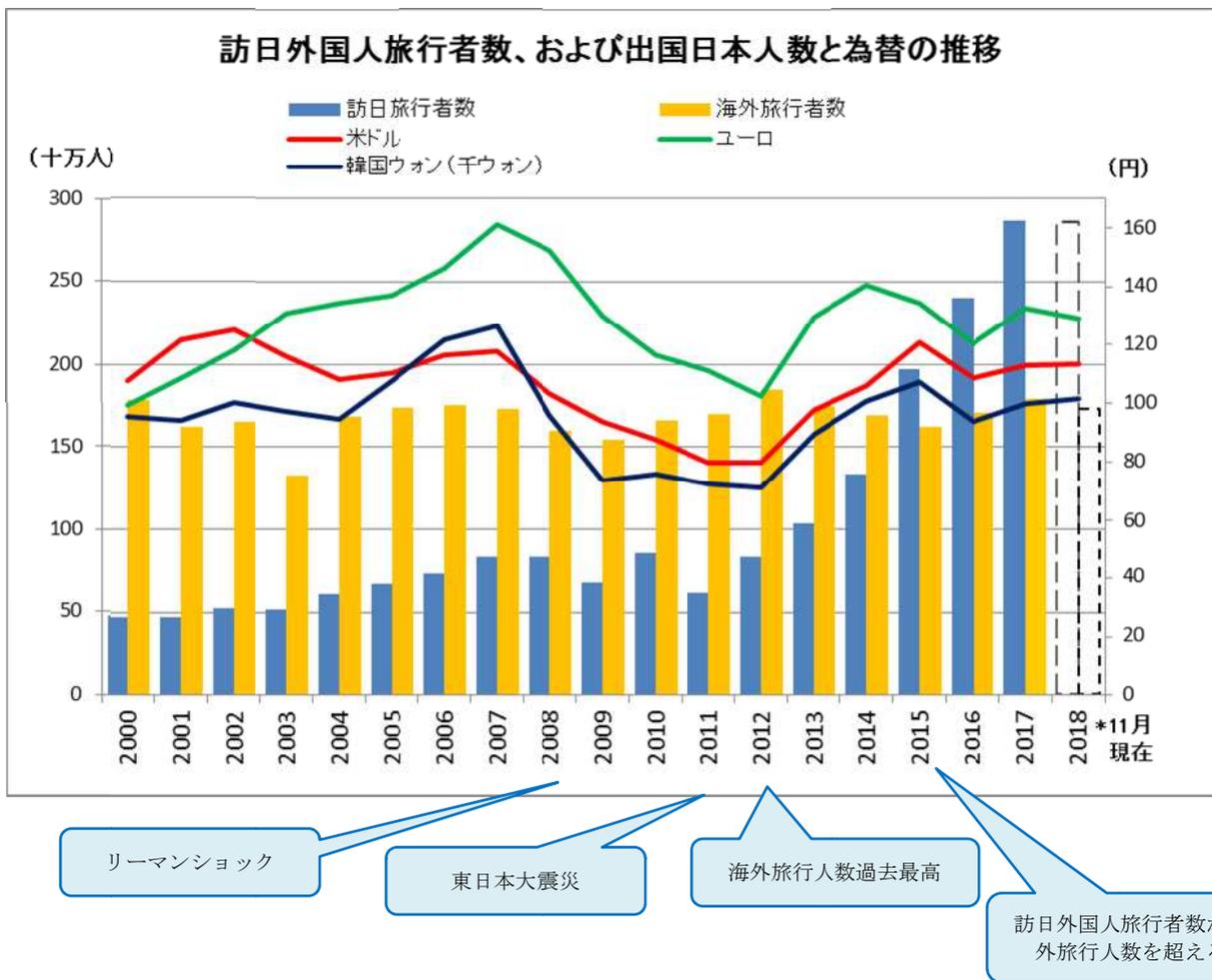
## ・宿泊施設の多様化と民泊の利用

近年、古民家や歴史的建造物を活用した宿も増え、その地に伝わる生活文化の体験が旅行者の関心を集めています。これらの宿泊施設では、地域ならではの宿に泊まりたいというニーズから、訪日旅行者の利用も増えています。2018年6月の住宅宿泊事業法（民泊新法）施行後の訪日外国人による利用は約7割で、宿泊のスタイルの一つとなっています。

## ・「ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>日本大会」が日本各地を舞台に開催

世界のラグビーファンには欧米を中心として富裕層も多く、熱心なファンが世界各地から日本を訪れることが予想されます。また、大会の開催期間が長い上に、日本各地（札幌市、釜石市、熊谷市、調布市、横浜市、袋井市、豊田市、東大阪市、神戸市、福岡市、熊本市、大分市）の12のスタジアムで試合が開催されることから、開催地を訪れる外国人旅行者の増加とともに、周辺観光を通じた地域経済への波及効果も期待されます。

## （参考） 訪日外国人旅行者数、および出国日本人数と為替の推移



## 2019 年の年間予定

周年：日本-オーストリア友好 150 周年 日本-ハンガリー友好 150 周年		
1 月	6 日(日) 7 日(月)	大河ドラマ「いだてん」放送開始 天皇陛下即位 30 年
2 月	5 日(火) 23 日(土) 24 日(日)	若年層向けホテル「星野リゾートBEB5軽井沢」開業 大阪城公園に「クールジャパンパーク大阪」開業 天皇陛下在位 30 年記念式典
3 月	16 日(土)	「ムーミンバレーパーク <sup>®</sup> 」がオープン(埼玉県飯能市)
4 月	4 日(木) 27 日(土) 30 日(火)	銀座に日本初の「MUJI HOTEL GINZA」開業 GW10 連休(～5 月 6 日 2019 年限り) 退位礼正殿の儀
5 月	1 日(水)	皇太子さま即位、新元号へ
6 月	28 日(金) 下旬	G20 首脳会議(～29 日 大阪) G20 財務省・中央銀行総裁会議(福岡)
7 月	27 日(土)	南部九州総体(インターハイ)(～8 月 20 日)
8 月		
9 月	12 日(木) 20 日(金) 28 日(土)	「The Okura Tokyo」(旧ホテルオークラ東京本館)開業 ラグビーワールドカップ 2019 <sup>™</sup> 日本大会(～11 月 2 日) 第 74 回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体(～10 月 8 日)
10 月	1 日(火) 12 日(土) 22 日(火)	消費税 10%に引き上げ 第 19 回全国障害者スポーツ大会いきいき茨城ゆめ大会(～14 日) 即位礼正殿の儀 祝賀御列の儀 (2019 年限りの祝日)
11 月	下旬	新国立競技場完成
12 月	下旬	アクアティクスセンター竣工
2019 年	春 秋 2019 年中	みなとみらい新旅客ターミナルオープン 「東急プラザ渋谷」跡地など渋谷再開発地区の新ビル群が開業予定 中部国際空港にLCC向け新ターミナル開業予定

# 2018年の実績推計

## 1. 国内旅行

### **国内旅行人数は2億8,660万人(前年比▲3.0%)、平均消費額は35,880円(前年比+1.5%)と推計**

観光庁の宿泊旅行統計調査では、日本人の延べ宿泊者数は、2018年1月～9月の累計で前年比97.1%となっています。10月は、前年同月比+2.8%（速報値）で増加傾向ですが、7月～9月の自然災害の影響により、2018年の国内旅行人数は、2億8,660万人（前年比▲3.0%）平均消費額は35,880円（前年比+1.5%）になると推計します。

## 2. 海外旅行

### **海外旅行人数は過去最高の1,890万人(前年比+5.6%)、平均消費額は241,500円(前年比▲2.0%)と推計**

2018年の日本人の出国者数は、2018年1月～11月の累計で1,732万人(前年比+5.5%)と好調に推移しています。為替レートはほぼ前年並で推移しました。燃油サーチャージは、2017年2月に復活し、2018年8月に値上がりしていますが、8月以降も海外旅行者数に目立った影響は出ていません。一方で、アジア方面を中心としたLCCを利用する旅行者の増加などから、平均消費額は微減すると考え、海外旅行人数は過去最高の1,890万人（前年比+5.6%）、平均消費額は241,500円（前年比▲2.0%）と推計します。

## 3. 訪日旅行

### **訪日外国人旅行者数は、3,160万人(前年比+10.1%)と推計**

2018年の訪日外国人旅行者数は、9月は自然災害の影響で5年8か月ぶりに伸率がマイナス（▲5.3%）となりましたが、10月の訪日外国人旅行者数は264万人（前年同月比+1.8%）、11月は245万人（同+3.1%）となり、1月～11月の累計では2,856万人（同+9.1%）となっています。12月18日には、3,000万人を突破したと発表されました。2018年の訪日外国人旅行者数は、3,160万人（前年比+10.1%）になると推計します。

#### <生活者アンケート調査方法>

調査地点：全国200地点、各層に比例配分

調査実施期間：2018年11月1日～11月13日

調査対象：全国15歳以上79歳までの男女個人

サンプル数：1,200名(1地点6名×200地点)

調査方法：専属調査員による個別訪問調査（100%回収）

#### <報道関係の方からの問い合わせ先>

JTB 広報室 03-5796-5833

◆2003年～2018年の推計、2019年の見通し数値

年	総旅行人数(延べ人数)(万人)			国内旅行	海外旅行	旅行総消費額(億円)			平均	訪日 外国人 数 (万人)
	国内旅行 人数 (万人)	海外旅行 人数 (万人)	平均 消費額 (円)	平均 消費額 (円)	国内旅行 消費額 (億円)	海外旅行 消費額 (億円)	平均 旅行 回数 (回)			
2003	33,781	32,451	1,330	35,590	300,800	155,500	115,500	40,000	2.64	521
	▲0.8%	+0.2%	▲19.5%	+0.1%	+2.4%	▲5.0%	+0.3%	▲17.5%	▲0.03	▲0.6%
2004	33,036	31,353	1,683	35,660	292,600	161,000	111,800	49,200	2.64	614
	▲2.2%	▲3.4%	+26.5%	+0.2%	▲2.7%	+3.5%	▲3.2%	+23.0%	±0.00	+17.9%
2005	32,256	30,516	1,740	35,600	294,500	159,900	108,600	51,300	2.62	673
	▲2.4%	▲2.7%	+3.4%	▲0.2%	+0.6%	▲0.7%	▲2.9%	+4.3%	▲0.02	+9.6%
2006	31,794	30,041	1,753	34,310	297,200	155,200	103,100	52,100	2.60	733
	▲1.4%	▲1.6%	+0.7%	▲3.6%	+0.9%	▲2.9%	▲5.1%	+1.6%	▲0.02	+8.9%
2007	31,710	29,981	1,729	34,170	305,600	155,200	102,400	52,800	2.60	835
	▲0.3%	▲0.2%	▲1.4%	▲0.4%	+2.8%	±0.0%	▲0.7%	+1.3%	±0.00	+13.9%
2008	31,251	29,651	1,600	33,760	286,300	145,900	100,100	45,800	2.51	835
	▲1.4%	▲1.1%	▲7.5%	▲1.2%	▲6.3%	▲6.0%	▲2.2%	▲13.3%	▲0.09	+0.0%
2009	30,455	28,910	1,545	31,940	253,400	131,500	92,300	39,200	2.25	679
	▲2.5%	▲2.5%	▲3.4%	▲5.4%	▲11.5%	▲9.9%	▲7.8%	▲14.4%	▲0.26	▲18.7%
2010	30,808	29,144	1,664	32,020	251,900	135,200	93,300	41,900	2.29	861
	+1.2%	+0.8%	+7.7%	+0.3%	▲0.6%	+2.8%	+1.1%	+6.9%	+0.04	+26.8%
2011	29,969	28,270	1,699	33,100	256,000	137,100	93,600	43,500	2.35	622
	▲2.7%	▲3.0%	+2.1%	+3.4%	+1.6%	+1.4%	+0.3%	+3.8%	+0.06	▲27.8%
2012	30,439	28,590	1,849	32,780	251,900	140,300	93,700	46,600	2.39	836
	+1.6%	+1.1%	+8.8%	▲1.0%	▲1.6%	+2.3%	+0.1%	+7.1%	+0.04	+34.4%
2013	30,833	29,090	1,747	33,940	265,600	145,000	98,700	46,300	2.42	1,036
	+1.3%	+1.7%	▲5.5%	+3.5%	+5.4%	+3.3%	+5.3%	▲0.6%	+0.03	+24.0%
2014	30,140	28,450	1,690	33,740	273,450	142,200	96,000	46,200	2.40	1,341
	▲2.2%	▲2.2%	▲3.3%	▲0.6%	+3.0%	▲1.9%	▲2.7%	▲0.2%	▲0.02	+29.4%
2015	30,781	29,160	1,621	35,220	249,800	143,200	102,700	40,500	2.45	1,974
	+2.1%	+2.5%	▲4.0%	+4.4%	▲8.6%	+0.7%	+7.0%	▲12.3%	+0.05	+47.1%
2016	31,392	29,680	1,712	35,100	248,900	146,810	104,200	42,610	2.51	2,410
	+2.0%	+1.8%	+5.6%	▲0.3%	▲0.4%	+2.5%	+1.5%	+5.2%	+0.06	+22.1%
2017	31,339	29,550	1,789	35,350	246,500	148,600	104,500	44,100	2.51	2,869
	▲0.2%	▲0.4%	+4.5%	+0.7%	▲1.0%	+1.2%	+0.3%	+3.5%	±0.00	+19.0%
2018	30,550	28,660	1,890	35,880	241,500	148,444	102,800	45,644	2.46	3,160
	▲2.5%	▲3.0%	+5.6%	+1.5%	▲2.0%	▲0.1%	▲1.6%	+3.5%	▲0.05	+10.1%
2019	31,000	29,090	1,910	36,600	241,600	152,600	106,500	46,100	2.49	3,550
	+1.5%	+1.5%	+1.1%	+2.0%	±0.0%	+2.8%	+3.6%	+1.0%	+0.03	+12.3%